

1 地域の概況

(1) 村山地域の主要指標

項目	年次	単位	東南村山	西村山	北村山	村山地域計	県計	全県比		
面積	R5.10.1	km ²	827.85	935.56	855.99	2,619.40	9,323.15	28.1%		
人口等	総人口	R5.10.1	人	354,407	73,309	88,452	516,168	1,026,228	50.3%	
	年少人口	R5.10.1	人	39,833	7,946	9,985	57,764	109,498	52.8%	
	老年人口	R5.10.1	人	113,418	27,485	31,142	172,045	361,165	47.6%	
	年少人口比率	R5.10.1	%	11.2	10.8	11.3	11.2	10.7		
	老年人口比率	R5.10.1	%	32.0	37.5	35.2	33.3	35.2		
	合計特殊出生率	R4年	-				1.31	1.32		
市町村内総生産額	R2年度	億円	14,357	2,621	4,846	21,824	42,842	50.9%		
1人当たり市町村所得	R2年度	万円				297.6	284.7			
農業	総農家数	R2.2.1	戸	7,817	4,489	6,103	18,409	39,628	46.5%	
	販売農家数	R2.2.1	戸	4,747	2,563	4,191	11,501	26,796	42.9%	
	耕地面積	R4.7.15	ha	12,284	6,584	13,650	32,518	115,000	28.3%	
	水稻の収穫量	R4年産	t	32,050	15,969	37,190	85,209	365,300	23.3%	
工業	製造品出荷額等	R3年	億円	6,225	1,935	5,515	13,675	30,239	45.2%	
	事業所数	R4年	か所	703	226	264	1,193	2,701	44.2%	
	従業員数	R4年	人	22,170	8,649	13,435	44,254	98,272	45.0%	
	従業員1人当たり	R3年	万円	2,807.8	2,237.7	4,104.9	3,090.1	3,077.1		
商業	卸売事業所数	R3年	か所	1,067	120	126	1,313	2,451	53.6%	
	卸売業販売額	R3年	億円	8,405	254	441	9,100	12,731	71.5%	
		従業者数	R3年	人	10,040	757	761	11,558	19,293	
		従業員1人当たり	R3年	万円	8,371.1	3,360.6	5,795.0	7,873.3	6,598.6	
	小売事業所数	R3年	か所	2,734	680	817	4,231	9,149	46.2%	
	小売業販売額	R3年	億円	4,107	679	840	5,627	11,006	51.1%	
		従業者数	R3年	人	20,876	4,095	4,567	29,538	59,224	
		従業員1人当たり	R3年	万円	1,967.4	1,659.1	1,839.9	1,905.0	1,858.4	
その他	観光客数	R4年度	万人	850.3	463.5	372.3	1,686.1	3,603.4	46.8%	
	道路改良率	R5.4.1	%	92.5	83.3	93.8	90.1	-		
	道路舗装率	R5.4.1	%	95.5	88.3	97.1	93.8	-		
	生活排水処理施設普及率	R5.3.31	%	99.2	90.0	93.7	96.9	94.2		
	高校等進学率	R4年度	%	99.3	99.1	98.9	99.2	99.2		
	大学等進学率	R4年度	%	54.2	46.5	46.9	51.7	48.8		

資料：全国都道府県市区町村別面積調、山形県の人口と世帯数、少子化・次世代育成支援対策関係データ集、市町村経済計算、東北農林水産統計年報、経済センサス、山形県観光者数調査、村山総合支庁道路課調、山形県の下水道、学校基本調査

注：道路改良率・舗装率については、村山総合支庁が管理する一般国道及び県道（自転車道を除く。）の合計数

(2) 地域のおこり

○古代・中世

大化改新前後、現在の山形県内陸地方は、東北地方の中では、福島～宮城とともに坂東（坂の東：東山道の碓井(ウスイ)峠(群馬・長野県境)と古東海道の足柄峠(静岡・神奈川県境)から東の、後に関東と呼ばれた地域の呼称)の延長線上に属し、北奥羽三県の地とは、稲作文化の進展度においても一段違った展開をみせていた。出羽地方に国造(クニミヤコ:大和朝廷が各国においた地方官)がいたという資料は無く、蝦夷(エミシ)と呼ばれた東北地方原住の人々とその国土に対する、大和朝廷の支配は放任的であった。日本書紀の記事では、689年には現置賜郡に当たる地域が、陸奥国優嗜曇郡(ミチノクノウキタミノホリ)と表記されており、奥羽経営のために設けられた柵の管轄下に入っていたと考えられている。当時の住民の生活は狩猟本位の肉食生活の伝統から、次第に農耕民的な生活に変わり、七世紀末になると次第に米食に移行していくようになっていた。

「続日本紀」によると和銅元年(708年)に、庄内地方に出羽郡が置かれ、最上川以南を郡域としたが、712年に現在の村山・最上地方を指す最上郡と、置賜郡の二郡が新たに置かれ、ほぼ山形県域が新しい出羽国にまとまったとされる。

律令を補足した施行細則である延喜式・兵部式の「諸国駅伝馬条」によると、奈良朝から平安朝の出羽山道駅路には、「駅馬 最上(モカミ)十五疋、村山(ムラヤマ)・野後(ノジリ)各十五疋、避翼(サカネ)十二疋…… 伝馬 最上五疋、野尻三疋・船五隻……」との表記があり、最上駅は現在の山形市、村山駅は東根市地内、次の野後駅は大石田町地内というふうに、村山から飽海まで最上川に沿って駅が並んでいる。

その後、八世紀末からの坂上田村麻呂の征夷を経て平安時代に入ると、大地震の影響によって出羽国府を庄内から最上郡へ南遷することの論議(国府南遷の議)が起こったが、交通不便の地ということから見送られた。延喜式によると出羽国の管下にあった郡は、最上(モカミ)村山(ムラヤマ)置賜(オキタム)……と十一郡あり、その郡衙の位置は最上郡が山形市東部か天童市清池付近、村山郡が東根市郡山付近と推定される。

国府南遷の議以降、鎌倉・南北朝期にいたるまで、出羽国府は庄内の地を離れることは無かったが、この時期に論議が行われたことの意味は大きく、最上郡すなわち村山盆地の南部が中世以降になって出羽国の政治的中心となるにいたる歴史的傾向を予告するものと言える。

<「山形県史第1巻」より>

○近世

村山郡は886年、最上郡が二分され、最上・村山郡となって成立した新郡である(村山の語源は山々に囲まれた山里であることから、^{むれやま}群山から来たものとされている)。ここで意外なのは、旧最上郡のうち最上郡が南部で村山郡が北部となっており、現在とは逆の位置関係にあったことである。つまり、現在の村山地方がほぼ当時の最上郡で、現在の最上地域がほぼ当時の村山郡であった。村山郡と最上郡の位置が現在のように逆転した理由は諸説あるが、逆転の時期は江戸初期と考えられており、正保年間、恐らくは正保出羽一國御絵図作製のときに政治的に確定したと推測される。

幕末の村山郡は、尾花沢、寒河江などの幕府領の4陣屋、山形藩、上山藩など城付領4藩、柏倉陣屋、山野辺陣屋など5つの飛地藩領と1旗本領が混在していた。その後、明治維新、廃藩置県を経て、明治11年の郡区町村編制法の施行で村山郡は消滅し、東村山、西村山、南村山、北村山の4郡に分割された。

<「角川日本地名大辞典6. 山形県」より抜粋>

(3) 土地利用

村山地域における土地利用区分別の主な面積は、農用地が 32,565ha、森林が 172,450ha、住宅・工場用地等が 12,264ha となっており、県全体と比較して、森林面積の割合が小さく、宅地面積の割合が大きくなっていることが特徴である。

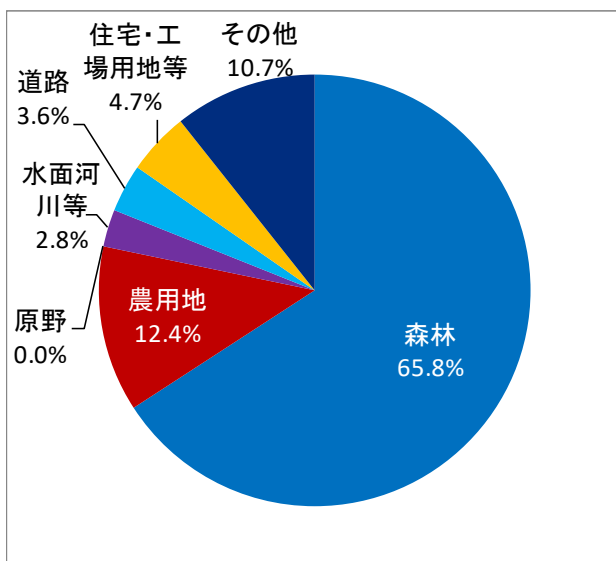
県土の利用形態別面積（令和4年10月1日現在）

(単位：ha)

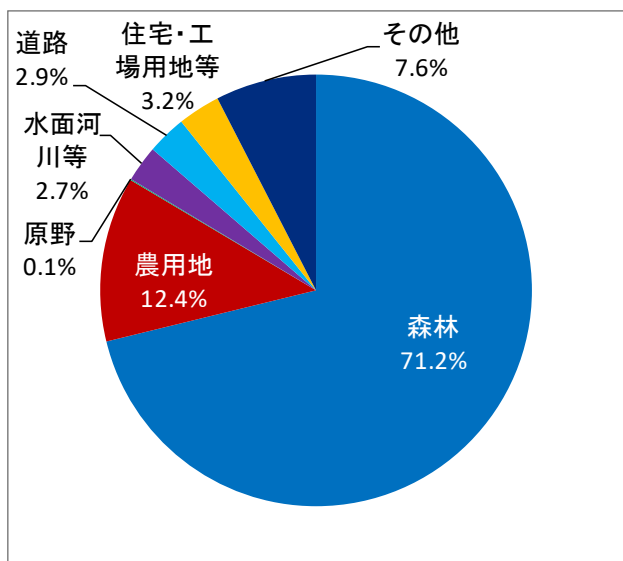
市町村名	総数	農用地	森林	原野	水面・河川・水路	道路	住宅・工場用地等	その他
山形市	38,130	4,990	21,253	-	860	2,160	3,999	4,868
上山市	24,093	2,170	16,712	-	418	761	817	3,215
天童市	11,302	3,410	3,777	-	345	807	1,564	1,399
山辺町	6,145	781	3,153	-	238	290	333	1,350
中山町	3,115	950	1,000	-	175	237	267	486
寒河江市	13,903	2,540	7,030	-	609	646	1,061	2,017
河北町	5,245	1,762	1,422	-	513	343	499	706
西川町	39,319	486	35,189	-	857	699	200	1,888
朝日町	19,681	1,017	14,821	-	742	450	266	2,385
大江町	15,408	808	12,603	-	185	371	243	1,198
村山市	19,698	3,736	11,388	21	541	690	807	2,515
東根市	20,694	2,960	13,348	-	384	677	1,329	1,996
尾花沢市	37,253	5,300	26,536	-	916	949	633	2,919
大石田町	7,954	1,655	4,218	-	529	289	246	1,017
村山地域	261,940	32,565	172,450	21	7,312	9,369	12,264	27,959
面積比	100.0	12.4%	65.8%	0.0%	2.8%	3.6%	4.7%	10.7%
山形県	932,313	115,193	663,673	698	25,323	27,447	29,549	70,430
面積比	100.0	12.4%	71.2%	0.1%	2.7%	2.9%	3.2%	7.6%

資料：山形県県土整備部県土利用政策課

村山地域の利用形態別面積比



山形県の利用形態別面積比



(4) 気象

令和5年の地域別気象をみると、山形地区は村山地区内の他の地域に比べ、年間の平均気温が高く、山形盆地中央部の温暖な特徴が見て取れる。また、左沢及び尾花沢は平均気温が低く、特に尾花沢は県内有数の豪雪地帯となっている。

地域別気象（令和5年）

項目	単位	村 山			最 上	置 賜	庄 内
		山 形	左 沢	尾花沢	新 庄	米 沢	酒 田
平均気温	℃	13.7	11.9	12.3	12.6	12.6	14.6
年降水量	mm	1,176.5	1,214.0	1,407.5	1,879.5	1,499.5	2,088.0
平均風速	m/s	1.8	1.6	2.3	2.6	1.3	4.0
年間日照時間	時間	1,893.6	1,875.6	1,707.6	1,573.3	1,855.4	1,877.9
最深積雪	cm	43	78	190	131	96	15

資料：「気象庁ホームページ」気象統計情報＞過去の気象データ検索＞年ごとの値

